

2021年度兵庫県ふるさと文化の伝承・発信サポート事業

女流義太夫 人間国宝・文化功労者

南あわじ市名誉市民

第三回竹本駒之助 南あわじ市公演

しんぱんうたざいもん

「新版歌祭文」

野崎村の段

太夫 竹本 駒之助

三味線 鶴澤 津賀花

ツレ・高音 鶴澤 友勇

ツレ 鶴澤 友吉



©福田知弘

令和4年3月6日

開場13時 開演14時 (15時20分終演予定)

◆入場料 (全席自由席、未就学児入場不可)

大人 前売券 1,000円 / 当日券 1,200円

高校生以下 前売券 500円 / 当日券 600円

◆会場 南あわじ市中央公民館

〒656-0475

兵庫県南あわじ市市三條 880 番地

お問合せ 竹本駒之助南あわじ市公演実行委員会  
(淡路人形浄瑠璃資料館内)

TEL 0799-42-5115

主催 竹本駒之助南あわじ市公演実行委員会

後援 南あわじ市・洲本市・淡路市・南あわじ市教育委員会

洲本市教育委員会・淡路市教育委員会

(公財)日本伝統文化振興財団・(一社)義太夫協会

1月13日(水) 午前10時より前売券販売開始

チケット販売先

淡路人形浄瑠璃資料館 TEL0799-42-5115 (月曜定休)

淡路人形座 TEL0799-52-0260 (水曜定休)

ご来場されるお客様へのお知らせとお願い

新型コロナウイルス感染予防のため、ご入場の際、マスクの着用、検温、手指の消毒、お客様の氏名・連絡先の記入をお願いいたします。

37.5度以上の発熱があるお客様、咳、喉の痛み等の症状があるお客様は入場できません。

今後の状況により、公演開催直前に開催中止とする可能性もありますので、予めご了承ください。



# 「新版歌祭文」野崎村の段

太夫 竹本 駒之助  
 三味線 鶴澤 津賀花  
 ツレ・高音 鶴澤 友 勇  
 ツレ 鶴澤 友 吉

## 「あらすじ」

野崎村の久作の家には、病気の女房とその連れ子のお光がいます。油屋に奉公に出ていた養い子の久松が、集金の金紛失で戻されてきました。

久作が許婚同士のお光と久松の祝言をさせようと準備をしている最中に、油屋のお染が久松恋しさの一念で訪ねてきます。お染と久松は心中の決心をしますが、「お夏清十郎」の歌祭文になぞらえて久作が意見すると、二人は分かれることを約束します。急いで祝言をあげようとしたところ、お光は髪を切って尼になっていました。二人が死ぬ覚悟と気付いて自分の祝言をあきらめ、身を引くというお光の言葉に一同は涙します。

お染の後を追ってきた母お勝の計らいで、久松はふたたび油屋へ戻ることになりましたが、世間への遠慮から久松は駕籠で、お染と母は舟で大阪へ戻っていきます。見送るお光は、いったんはあきらめたものこのらえきれなくなって久作の胸にすがりつくのでした。

### 人間国宝 竹本駒之助



南あわじ市出身

- 1949年 大阪にて竹本春駒に入門 文楽の諸師匠方に師事
- 1952年 二代鶴澤三生を相三味線に東京で演奏活動を始める
- 1953年 豊竹つぼめ太夫(のちの四代竹本越路太夫)に師事
- 1970年 四代竹本越路太夫の女性唯一の門人となる
- 1980年 重要無形文化財「義太夫節」総合認定保持者に認定
- 1996年 第26回モービル音楽賞受賞
- 1999年 重要無形文化財「義太夫節浄瑠璃」各個認定保持者(人間国宝)に認定
- 2003年 紫綬褒章受章
- 2008年 旭日小綬章受賞
- 2009年 第64回文化庁芸術祭優秀賞(レコード部門)を受賞
- 2012年 第61回神奈川文化賞受賞
- 2015年 第70回文化庁芸術祭大賞(音楽部門)受賞
- 2017年 文化功労者に選出
- 2018年 南あわじ市名誉市民に選定
- 義太夫節保存会会長(二社) 義太夫協会理事

### 鶴澤津賀花



福井県出身

- 1995年 武蔵野音楽大学音楽学部音楽学学科卒業
- 1998年 竹本駒之助に入門
- 2001年 国立演芸場にて初舞台
- 2006年 文化庁新進芸術家国内研修員として
- 2007年 六代鶴澤燕三に師事
- 2009年 文化庁芸術団体人材育成支援事業研修員
- 2009年 義太夫協会新人奨励賞受賞
- 2009年 日本伝統文化振興財団
- 2011年 第十回「邦楽技能者オーディション」合格
- 2017年 第24回清茶会奨励賞受賞
- 2017年 第38回松尾芸能賞新人賞受賞

### 鶴澤友勇



南あわじ市賀集出身

- 祖父や父が義太夫節の稽古を受けていた影響で、小学校一年生に福井子供会へ入会、中学校卒業まで在籍。三原高校郷土部でも活躍。
- 1985年 淡路人形座に入座
- 2000年 人形浄瑠璃因協会奨励賞受賞
- 2013年 第33回伝統文化ポラ賞地域賞受賞
- 2015年 重要無形文化財「義太夫節」保持者認定(総合認定)

### 鶴澤友吉



南あわじ市在住

- 7歳より福井子供会人形浄瑠璃部に所属。1992年淡路人形座に入座。2020年コロナ禍で座が休業中に淡路人形座を退座。自称「芸農人」として、農業の傍ら義太夫の魅力発信中。